

みんなの健康ラジオ

『腎がんの診断と治療』

(2022年3月17日放送)

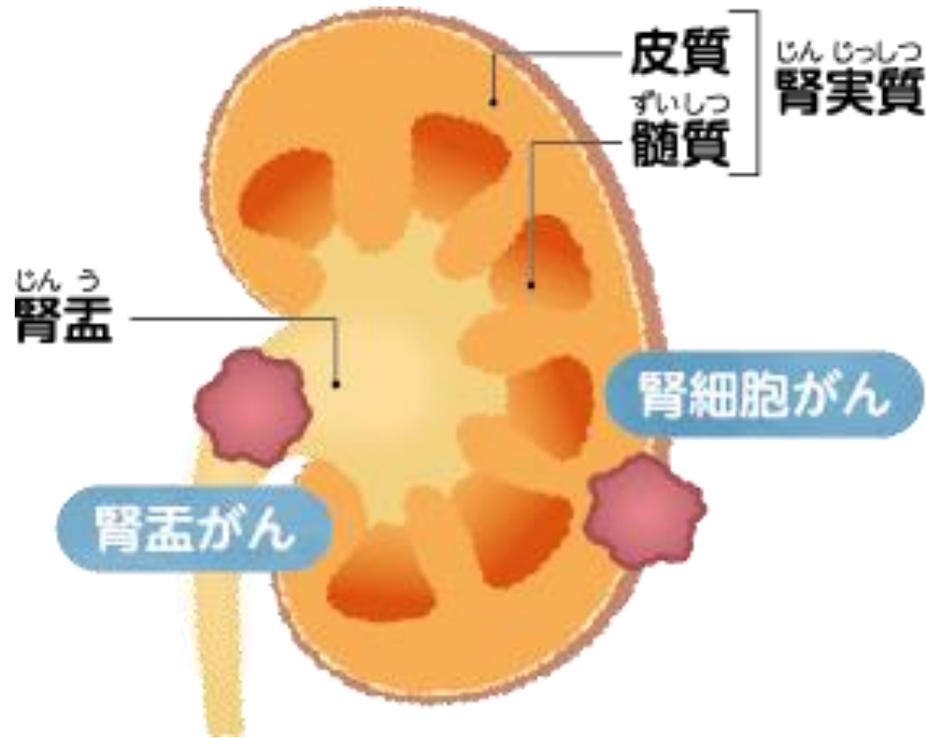
横浜市泌尿器科医会

聖隷福祉事業団聖隷横浜病院

波多野 孝史



腎細胞癌と腎盂（じんう）癌

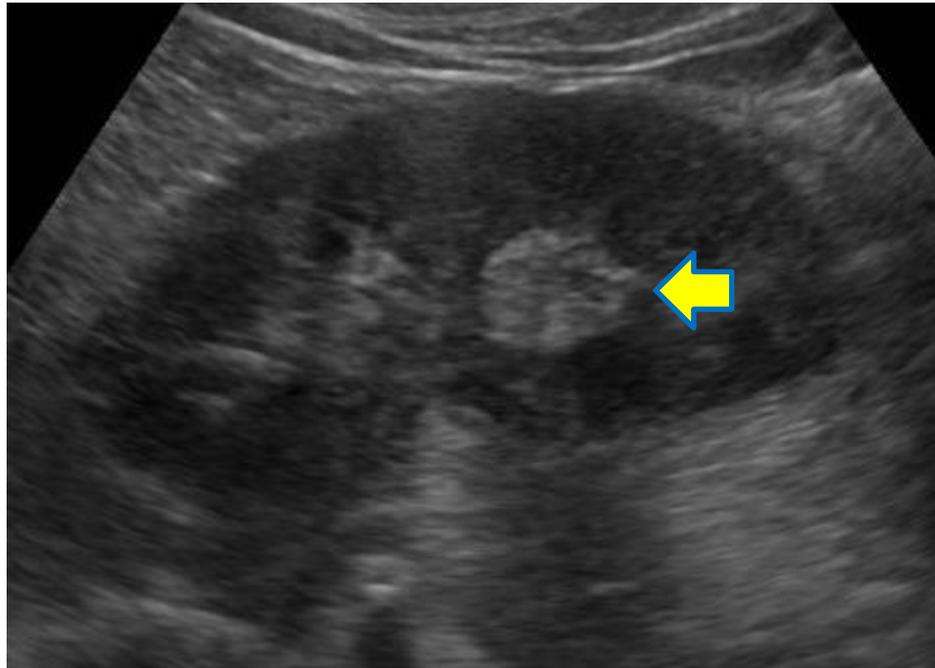


腎臓には腎実質にできる腎細胞癌と、腎臓の内側に位置する腎盂という場所にできる腎盂癌の2つがあります。一般的に腎がんと言うと、腎細胞癌のことを意味します。そのため本日は腎細胞癌についてお話しします。

Seirei Yokohama Hospital



腎細胞癌のエコー所見

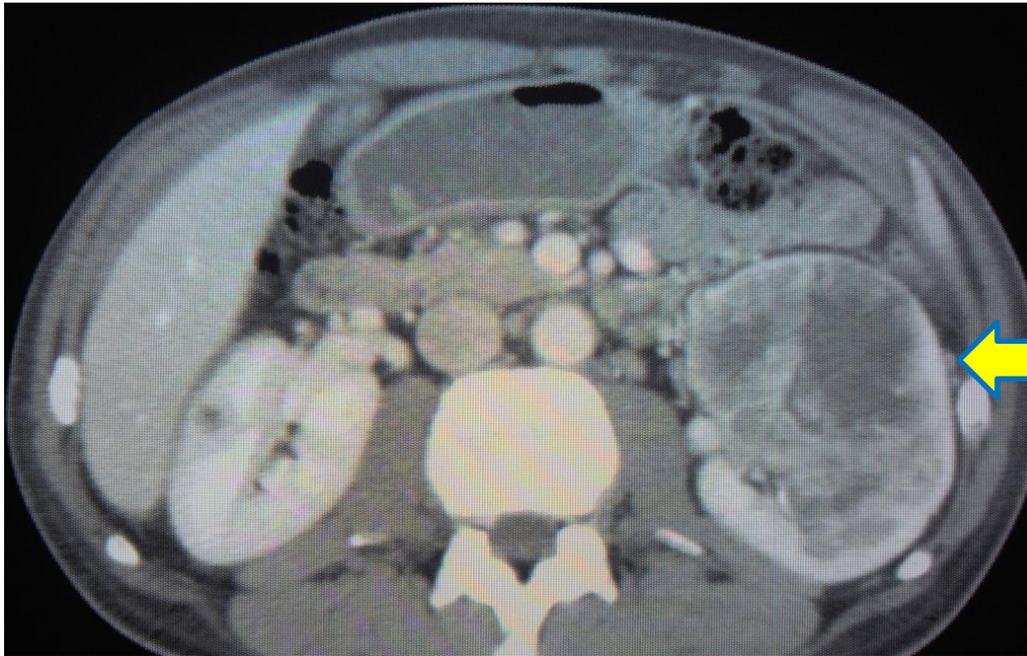


早期の腎細胞癌に典型的な症状はありません。そのため健康診断や人間ドックを定期的を受けて、尿検査や超音波検査をしていただく必要があります。

腎細胞癌が進行すると、肉眼的血尿や腹痛が現れ、腹部に腫瘤を触れるようになります。

Seirei Yokohama Hospital

腎細胞癌のCT所見



エコー等で腎臓の腫瘍を指摘された場合、総合病院の泌尿器科を受診し、造影CTやMRIなどの精密検査を受けていただきます。これらの検査は聖隷横浜病院でも行っています。また尿検査でタンパク尿を指摘された場合は、泌尿器科ではなく、腎臓内科を受診してください。

Seirei Yokohama Hospital



腎細胞癌発病のリスク



腎細胞癌発症のリスク因子として、肥満と喫煙が指摘されています。そのため腎細胞癌の予防には禁煙とバランスのとれた食事や体重コントロールが有効です。

また腎細胞癌には典型的な自覚症状はありませんので、定期的に健康診断や人間ドックを受け、腎臓に異常ないことを確認されることを勧めます。

Seirei Yokohama Hospital